

青森県知事 殿

令和 年 月 日

青森県私立高等学校等専攻科生徒奨学のための給付金受給申請書

青森県私立高等学校等専攻科生徒奨学のための給付金を受給したいので、以下のとおり申
なお、給付金は授業料以外の教育費に充てること及び以下の記載事項に相違がないことを

通常の給付は基準日(7/1)以降の提出日
早期給付及び家計急変は提出日

申請者(生計維持者)の住所 〒 030-8570 青森市新町2-4-30 TEL 017 123 (456)	申請者の氏名 長島 太郎	早期給付希望 ☐
---	-----------------	------------------------------------

1 世帯の区分(該当する区分にチェックしてください。)

世帯区分		
① ☐ ア	保護者(父母)等全員の 道府県民税所得割及び市町村民税所得割 の合計が	非課税である世帯
② ☐ イ		105,500円未満である世帯(アを除く)
③ ☒ ウ		264,500円未満であり扶養する子等が3人以上いる世帯(ア、イを除く)
④ ☐ 家計急変	家計急変世帯に該当する場合、当区分にもチェックす	
⑤ ☐ 災害等による制服の喪失・毀損	該当する場合、上記のチェックに加え、当区分にもチ	

家計急変世帯の場合は、こちらにもチェックをいれてください

2 対象となる生徒

ふりがな	ながしま	ゆきこ	生年月日	昭和 平成 21 年 6 月 19 日
氏名	姓 長島	名 幸子		
在学する学校	名称	私立 青森学園高等学校	専攻学科名	調理専攻 科
	所在地	青森 都道府県 青森 市区町村 長島1-1-1		
	設置者名	学校法人青森学園		
	在学期間	令和 8 年 4 月 1 日 ~ 令和 年 月 日		昨年度までの給付金を受給回数 なし 1回 2回 不明 ☒ ☐ ☐ ☐
過去の高等学校等専攻科における在学期間	学校名 立	年 月 日 ~ 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 不明 ☐ ☐ ☐ ☐

3 生計維持者の氏名及び対象となる生徒との続柄

保護者等	続柄	ふりがな	ながしま たろう	続柄	ふりがな	ながしま はなこ
	父 氏名	長島 太郎	母 氏名	長島 花子		

4 その他の確認事項(該当することを確認した上でチェックしてください。)

必ず確認事項に目を通して頂き、チェック印を付けるのを忘れないようにしてください

☒	この申請書に虚偽の記載があった場合は、青森県の求めに従いその全額を即時返還します。
☒	私は青森県以外の都道府県に私立高等学校等専攻科生徒奨学のための給付金の申請は行っておりません。
☒	当該生徒について、自治体から児童福祉法の規定による措置(見学旅行費又は特別育成費(母子生活支援施設の生徒を除く))を受けていません。
☒	他の団体又は個人から授業料以外の教育に必要な経費の負担軽減を目的とした金銭を受給する場合、私立高等学校等専攻科生徒奨学のための給付金の給付額を超えません。

※ 家計急変世帯に該当する場合、必要な確認書類を提出してください。(別紙参照)

通帳を見ながら、間違いが無いように記入して下さい
※統合等があった場合は、統合後の情報(支店番号等)を記入してください

5 給付金の振込先口座

申請者の口座	青森みちのく	銀行 金庫 組合	新町	支店 営業所 出張所	支店 番号	102
	預金 種別	☒ 普通 ☐ 当座 ☐ 別段	口座番号 (右詰め)	フリガナ 口座名義	ナガシマ タロウ 長島 太郎	

※裏面も必ずご記入ください。

記入例

6 対象となる生徒本人の国籍・在留資格・在留期間について

(1) 生徒本人の国籍を以下の通り申請します。(次のいずれかにチェックしてください。)

☒ 日本国

☐ 日本国以外

(2) 生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、下記の書類を提出します。

① ☒ 青森県内の高等学校等に在学している場合。
→高等学校等就学支援金の受給資格認定通知書等(高等学校等就学支援金、高校生等・新修学支援、学び直しへの支援のいずれか)

② ☐ 日本国籍 青森県外の高等学校等に在学している日本国籍の生徒の場合等
→住民票の写し※1

③ ☐ 特別永住者 住民票の写し※1 または 特別永住者証明書

④ ☐ 永住者 住民票の写し※1 または 在留カードの写し

⑤ ☐ 日本人の配偶者等 住民票の写し※1 または在留カードの写し

⑥ ☐ 永住者の配偶者等 住民票の写し※1 または在留カードの写し

⑦ ☐ 定住者 住民票の写し※1 または在留カードの写し

在留期間(満了日)

(西暦) 年 月 日

日本国に永住する意思の有無

☐ はい(あり) ☐ いいえ(なし)

⑧ ☐ 家族滞在

下記の、1及び2の両方を提出します。

1 住民票の写し※1
または在留カードの写し

2 日本国の小学校、中学校及び高等学校の「卒業証書の写し」または「卒業証明書(原本)」

在留期間(満了日)

(西暦) 年 月 日

日本国の小学校の卒業の有無等

☐ 卒業した ☐ 卒業していない

小学校名

所在地

都・道府・県

日本国の中学校の卒業の有無等

☐ 卒業した ☐ 卒業していない

中学校名

所在地

都・道府・県

日本国の高等学校の卒業の有無等

☐ 卒業した ☐ 卒業していない

高等学校等名

所在地

都・道府・県

高校卒業後、日本国で就労して定着する意思の有無

☐ はい(あり) ☐ いいえ(なし)

⑨ ☐ 上記以外の在留資格(留学生等)

住民票の写し※1
または在留カードの写し

在留期間(満了日)

(西暦) 年 月 日

※1 住民票の写し: 市町村の発行したもの。原本。国籍が「日本国」以外の生徒は、国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。

7 世帯の収入の状況((1)~(2)のうち、該当するものにチェックしてください。)

(1) 次の者の課税証明書等又は個人番号カードの写し等を提出します。

① ☒ 生計維持者(生徒の生計をその収入により維持している者)(父母) 2名分

② ☐ 生計維持者(生徒の生計をその収入により維持している者) 1名分

・ひとり親の場合

・生徒本人の個人番号カードの写し等又は課税証明書等を提出する場合 等

(2) 生計維持者(生計維持者が2人以上いるときはその全員)の家計の状況が確認できる書類を提出します。【家計急変の場合】

☐ 道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額が非課税である世帯に相当することが分かる書類

※別紙「記入上の注意」も必ず御確認頂くようお願いいたします。

記入例

令和 ○年 ○月 ○日

扶養親族申告書

通常の給付は基準日(7/1)以降の提出

青森県知事 殿

生計維持者①住所 青森市新町2-4-30

生年月日 昭和52年9月12日

氏名 長島 太郎

生計維持者②住所 青森市新町2-4-30

生年月日 昭和53年9月12日

氏名 長島 花子

令和7年12月31日時点の、生計維持者①及び生計維持者②の地方税法第314条の2第1項第11号に規定する市町村民税上の控除対象扶養親族及び年齢が16歳未満の扶養親族、並びに令和8年1月1日以降に出生等により新たに扶養することになった子等について以下のとおり申告いたします。

○生計維持者①の扶養親族

	氏名	生年月日	生計維持者①との続柄
1	長島 幸子	平成22年6月19日	子
2	長島 一郎	平成23年7月20日	子
3	長島 次郎	平成24年8月21日	子
4			
5			

○生計維持者②の扶養親族

	氏名	生年月日	生計維持者②との続柄
1			
2			
3			
4			
5			

【記入上の注意事項】

令和7年12月31日時点の、生計維持者①と生計維持者②の市町村民税上の扶養親族(配偶者を除く)を全員記載してください。なお、生計維持者の市町村民税上の扶養親族は以下の書類等で確認ができますのでこれらを参考に記入願います。

(確認ができる書類)

- ・年末調整の令和7年分扶養控除等(異動)申告書の写し
- ・令和7年分給与所得の源泉徴収票
- ・令和7年分確定申告書の写し(扶養親族が記載されている部分) など

○令和8年1月1日以降に出生等により新たに扶養することになった子等(証明書類必須)

	氏名	生年月日
1		
2		
3		

【記入上の注意事項】

「出生等により新たに扶養することになった子等」とは、以下の(ア)～(ウ)のいずれかのケースに当てはまる人のことです。ケースに応じた証明書類を提出してください。

ケース	証明書類(コピー可)
(ア)生計維持者の実子	出生証明書、母子手帳、戸籍抄本 等、子の出生日及び生計維持者の氏名が記載されたもの
(イ)生計維持者に委託された里子	里親委託証明書等、委託開始日及び生計維持者の氏名が記載されたもの
(ウ)生計維持者と特別養子縁組をした特別養子	特別養子縁組の確定証明書、戸籍抄本 等、縁組した日及び生計維持者の氏名が記載されたもの

(注) 早期給付の場合はいずれも前年に置き換えること。

【以下、事務担当者記入欄】※申告者は記入しない

扶養する子の数の合計 _____人